

2013年10月以降

ドアポケットに入れてお使いください

IMPREZA
SPORT

IMPREZA
G4

SUBARU
XV

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方にインプレッサ / XV を楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。初めてインプレッサ / XV に触れられるときにぜひご一読ください。

基本操作

各部の名称と使い方

便利な機能

表示灯・警告灯

こんなときは



SUBARU



クイックユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

1

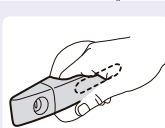
鍵を開ける(アクセスキーの場合)



を押す。

または、

アクセスキーを携帯し、
運転席または助手席の
ドアハンドルを握る。



アクセスキーが作動しないときは・・・

電波ノイズの影響または電池切れが考えられます。
再度操作しても作動しないときは、メカニカルキーでの操作も
可能です。キーの電池の消耗・故障の場合は、スバル販売店に
ご相談ください。

詳細は、
P.18～19「こんなときは」
をご覧ください。



2

シートを調整する

パワーシート

ヘッドレスト調整
(高さ・角度の調整)

リクライニング調整



スライド
調整



上下、座面前側
の高さ調整

マニュアルシート

リクライニング調整
(背当て角度の調整)



スライド調整
(前後の調整)

ヘッドレスト調整
(高さ・角度の調整)

上下調整(運転席のみ)



※エンジンがかかっているときに調整してください。


3

ハンドルの位置を調整する



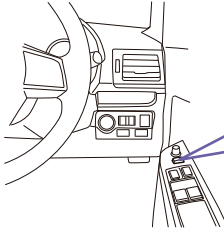
- 1 チルト/テレスコピックレバーを引き下げる。
- 2 ハンドル位置を合わせる。
- 3 チルト/テレスコピックレバーを押し上げる。

※ハンドルが固定されていることを確認してください。

一部グレードのみに装着されている機能・装備には  マークがついています。

4 ミラーの向きを調整する

エンジンスイッチがACCまたは、ONのときに調整できます。



電動リモコンドアミラー

調整するミラーを選ぶ: スイッチを「L」または「R」に回す。
ミラーの向きを調整: スイッチを上下左右に動かす。

電動格納式ドアミラー

左右のミラーを同時に格納・通常の使用位置に復帰。

5 エンジンをつける (プッシュスタート装備車の場合)



ブレーキペダルを
しっかり踏む
(CVT車)



ブレーキペダルと
クラッチペダルを
しっかり踏む
(MT車)



プッシュエンジン
スイッチを押す



エンジンが始動



緑色 (点灯)



消灯

下記のようなときは・・・




オレンジ (点滅)

車両の異常が考えられ
ます。直ちにスバル販売
店にご連絡ください。


緑色 (点滅)

ステアリングロックが
解除されていません。

6 セレクトレバー/チェンジレバーを操作する

チェンジレバー (MT 車)

変速するときは、クラッチペダルをいっぱい踏み込んで確実に操作してください。



6 セレクトレバー/チェンジレバーを操作する

セレクトレバー (CVT 車)



マニュアルモード装備車

P
R
N
D M

マニュアルモード

セレクトレバーを **D** から **M** に動かすとマニュアルモードになります。パドルシフトで変速できます。

パドルシフト

1段下のギヤに変速



1段上のギヤに変速



Lレンジ装備車

P
R
N
D L

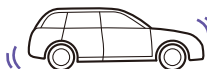
Lレンジ

セレクトレバーを **D** から **L** に動かすと、Lレンジになります。

下り坂やカーブの手前など、エンジンブレーキが必要なときに使用します。

7 エンジンを止める (プッシュスタート装備車の場合)

STOP!



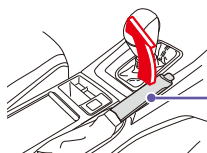
車を完全に停止する



セレクトレバーを **P** の位置にする (CVT 車)
チェンジレバーをニュートラルの位置にする (MT 車)





プッシュエンジンスイッチを押す




駐車するときは、車が動き出さないように**駐車ブレーキ**をかけてください。

確認してください!

セレクトレバーが **P** 以外でもエンジンは停止しますが、電源は **ACC** ( に点灯) になります。車から離れるときは、電源が **OFF** () になっているか確認してください。

消灯

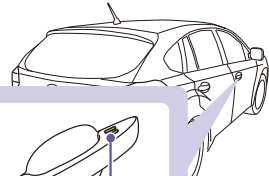
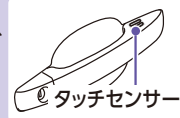
一部グレードのみに装着されている機能・装備には  マークがついています。

8 鍵を閉める(アクセスキーの場合)



または、

アクセスキーを携帯し、
ドアハンドルのタッチ
センサーに触れる。



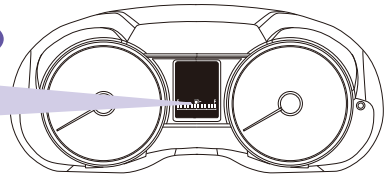
9 給油する

フューエルリッドの位置

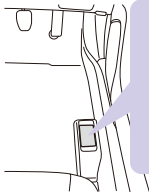
メーター表示部の燃料計に
フューエルリッド(燃料補給口)
の位置を示す表示があります。



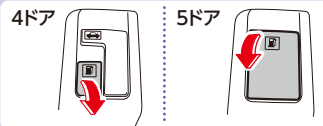
右側



フューエルリッドを開ける



運転席右下の
フューエルリッドオープナーレバーを
引き上げる。



使用燃料	タンク容量	
	無鉛レギュラーガソリン	インプレッサ
SUBARU XV		約 60L



詳細は、取扱説明書「第2章 運転する前に」、「第3章 運転するとき」をご覧ください。



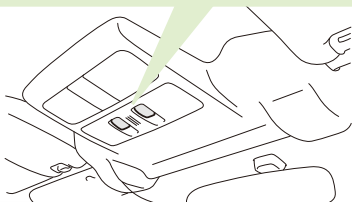
プッシュエンジンスイッチ 

電源の切り替え

CVT車はブレーキペダル、MT車はクラッチペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと電源が切り替わります。(エンジンはかかりません)

車線逸脱警報OFFスイッチ  /
プリクラッシュブレーキOFFスイッチ 

詳細は
P.12「便利な機能」を
ご覧ください。



詳細は、EyeSight 取扱説明書を
ご覧ください。



[S] モードスイッチ (CVT車)

山間部での走行または、高速道路の合流および
追い越し加速時に適した走行モードです。



押す



[S] モード表示灯
点灯：[S] モード作動状態

※ [S] モード消灯時は、Info-ECO 表示灯
が点灯


シートヒーター 

作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。
停止するときはスイッチを水平にします。

早く暖める



保温する

一部グレードのみに装着されている機能・装備には  マークがついています。

イルミネーションコントロールダイヤル

メーターなどの明るさを調整できます。

明るくなる



暗くなる

マニュアルヘッドランプレベラー

ヘッドランプの照らす高さを調節します。
通常はダイヤル0の位置で使用します。



上向き

下向き

VDC OFFスイッチ

特殊な状況下において、VDCを一時的に解除したほうが、走破性が向上するという場合に使用します。※通常はONでご使用ください。

- 雪や砂利などで覆われた急登坂路で発進するとき
- むかみ、深い雪にタイヤが埋まった状態から脱出するとき



押す

VDCが解除されます



VDC OFF 表示灯

点灯：VDC 解除状態

消灯：作動可能状態



詳細は、
取扱説明書「第5章 安全装備 -VDC-」を
ご覧ください。



アイドリングストップOFFスイッチ

場面に応じて、走行モードが選べます。



詳細は P.15 「便利な機能」を
ご覧ください。

集中ドアロックスイッチ/パワーウィンドウロックスイッチ

集中ドアロックスイッチ

全てのドア（リヤゲートを含む）の施錠・解錠ができます。

ロックスイッチ

助手席と後席のウィンドウは開閉できなくなります。



ワイパー/ヘッドランプウォッシャー

フロントワイパー

オートワイパー装備車

センサー感度調整:
-側に回す:低感度/+側に回す:高感度



MIST
手前に引くとウォッシャー液が噴射し、ワイパーが作動

オートワイパー装備車以外

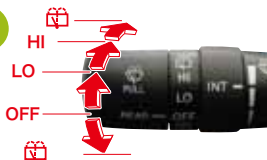
間欠作動の間隔調整:
上に回す:間隔が長い/下に回す:間隔が短い



MIST
手前に引くとウォッシャー液が噴射し、ワイパーが作動

MIST	手動で作動
OFF	停止
AUTO	雨滴量により自動作動
INT	間欠作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

リヤワイパー



☞(上側)	ウォッシャー液が噴射しワイパーが作動
HI	連続作動
LO	間欠(低速)作動
OFF	停止
☞(下側)	ウォッシャー液が噴射しワイパーが作動

ヘッドランプウォッシャー

ヘッドランプが点灯しているとき、1秒以上手前に引く。



マルチファンクションディスプレイ
操作スイッチ

マルチファンクションディスプレイの表示を切り替えたり、各種設定のときに使用します。

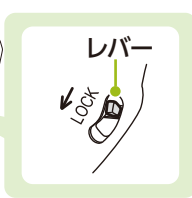
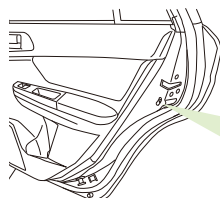



詳細は P.14「便利な機能」をご覧ください。



チャイルドプルーフ (リヤドア)

[LOCK] 側になると、車内からはリヤドアを開けられません。



一部グレードのみに装着されている機能・装備には  マークがついています。

クルーズコントロールスイッチ

アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つことができる機能です。

■全車速追従機能付きクルーズコントロール (EyeSight 装備車)

車速を一定に保って走行。同一車線上に先行車がいる場合は、追従して走行します。

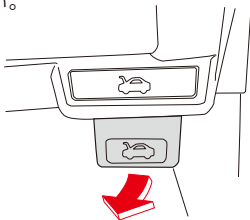
■クルーズコントロール (EyeSight 装備車以外)

車速を一定に保って走行します。



ボンネットオープナーレバー





ボンネットを開けるときはレバーを引いてください。



ライティングスイッチ/フォグランプスイッチ

ライティングスイッチ



	車幅灯、尾灯、番号表示灯、ヘッドランプ	 メーター内表示灯
	車幅灯、尾灯、番号表示灯	
AUTO 	センサー感知により自動点灯	



ヘッドランプの上下を切り替える

上向き：レバーを前に押す



メーター内表示灯

下向き：レバーを元に戻す

パッシング (合図)

レバーを手前に引いている間ランプは上向きになります。

フォグランプスイッチ

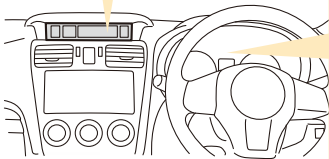


	フロントフォグランプ 	
	リヤフォグランプ 	

EyeSight(ver.2) 

EyeSight (アイサイト) ver.2は自動運転/自動衝突回避システムではありません。
EyeSight (アイサイト) ver.2だけに頼った運転は、絶対に行わないでください。
周囲の状況に注意して安全にご使用ください。ご使用前には取扱説明書をお読みください。

EyeSight (アイサイト) ver.2はさまざまな機能によって運転者の判断を助け、安全・快適で疲れの少ない運転を可能にする運転支援システムです。

マルチファンクション
ディスプレイ

詳細、各種設定については、EyeSight 取扱説明書をご覧ください。



メーター表示部



ついていく技術 (全車速追従機能付クルーズコントロール)

前方の自車線上の先車をステレオカメラにより認識し、運転者が設定したセット車速を上限として車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら追従走行する機能です。

本機能は高速道路などの自動車専用道路でお使いください。

ステアリングスイッチ

クルーズスイッチ
クルーズコントロールをON/OFFする


車間設定スイッチ
先車との車間距離設定を切り替える



RES/+スイッチ
セット車速を上げる/
一時解除から復帰する

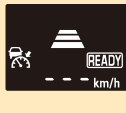
キャンセルスイッチ
クルーズコントロールを
一時解除する

SET/-スイッチ
セット車速を下げる/
クルーズコントロール
をセットする

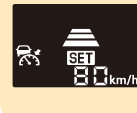
一部グレードのみに装着されている機能・装備には  マークがついています。

全車速追従機能付クルーズコントロールの使いかた

ON



セット可能状態になると「READY」が表示されます。

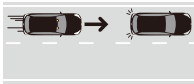


セット車速と「SET」が表示されます。

先行車がない場合

「SET」が点灯し、セット車速(約40~100km/h)で定速走行します。

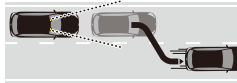
先行車がいる場合



“ピッ”と鳴り、先行車表示が表示されます。

〈ブレーキ踏み増し要求警報〉追従走行中に、クルーズコントロールによるブレーキ制御では減速しきれないと判断した場合、音と表示でお知らせします。

先行車がいなくなった場合



“ピッ”と鳴り、先行車表示が消えます。

〔先行車を認識しなくなると〕セット車速まで加速して定速走行します。

約30m以内で追従走行(約30km/h以下)していた先行車を認識しなくなると、自動的にクルーズコントロールが解除されます。

一時解除

CANCEL

または、ブレーキペダルを踏むと一時解除できます。

OFF



ぶつからない技術 (プリクラッシュブレーキ)

主に前方車両に衝突する可能性がある場合、警告音と表示でお知らせします。それでもドライバーがブレーキを踏まない場合、自動的に急ブレーキをかけます。衝突被害を軽減または衝突を回避する機能です。



マルチファンクションディスプレイ表示

メーター表示部(点滅でお知らせ)



飛び出さない技術 (AT誤発進抑制制御)

セレクトレバーの位置の入れ間違いや、ペダルの踏み間違いなどによる誤った前進を抑制します。



マルチファンクション
ディスプレイ表示

メーター表示部
(点滅でお知らせ)

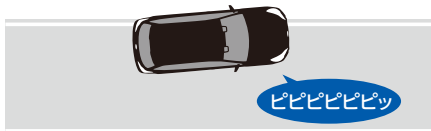
前方注意



注意してくれる技術 (警報&お知らせ機能)

車線逸脱警報

車速が約 40 km/h 以上で走行中に走行車線からはみだしそうになると、音と表示でお知らせします。



はみだし注意



ふらつき警報

車速が約 50km/h 以上で走行中に連続したふらつきを認識すると、音と表示でお知らせします。



ふらつき注意



(車線は交互に点滅)

先行車発進お知らせ

先行車が発進して約 3m 以上進んでも自車が停止し続けた場合、音と表示でお知らせします。

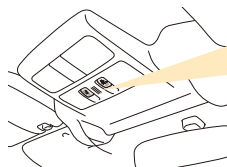


先行車が発進しました



車線逸脱警報OFFスイッチ/プリクラッシュブレーキOFFスイッチ

スイッチを長押しすると機能を解除できます。



車線逸脱警報 OFF スイッチ




車線逸脱警報と
ふらつき警報が
OFFになります。

プリクラッシュブレーキ OFF スイッチ

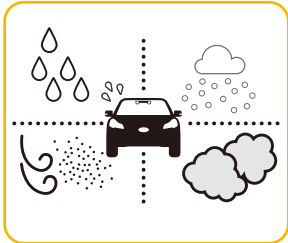


プリクラッシュブレーキと
AT誤発進抑制制御が
OFFになります。

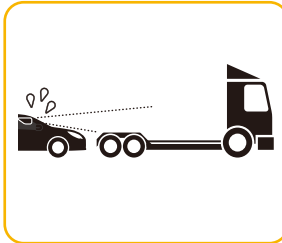
一部グレードのみに装着されている機能・装備には  マークがついています。

こんな場合はEyeSightが作動しないことがあります！

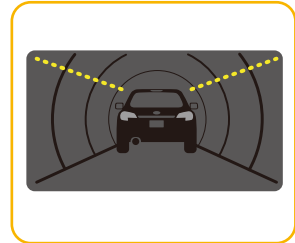
EyeSight (ver.2) は、あらゆる状況で衝突を回避するものではありません。EyeSight (ver.2) の認識性能・制御性能には限界があります。



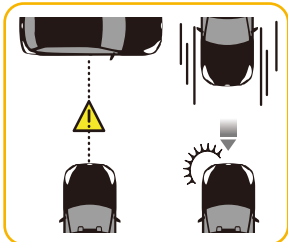
逆光、濃霧、はげしい雨



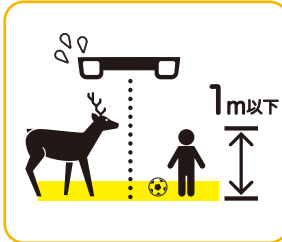
トレーラーなど
特殊な形状をしている車



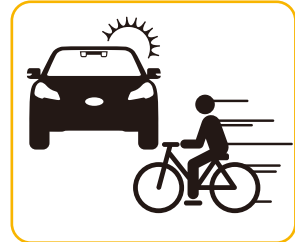
無灯火の車・暗闇



車の側面や対向車



子どもや動物



急な飛び出し (自転車や人など)



集団で歩いている歩行者



シャッター、模様のない壁

詳細は、EyeSight 取扱説明書
をご覧ください。



大変危険です！

ダンボールや別の車両を対象に実験することは、
絶対に行わないでください。



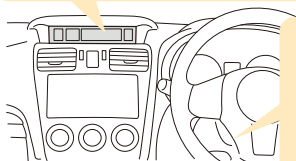
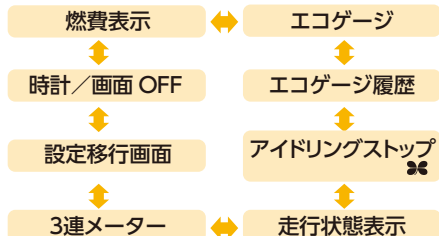
マルチファンクションディスプレイ

各種表示と設定ができます。異常を検知すると警告表示が割り込み表示されます。

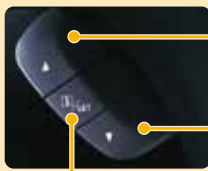
基本画面



各種表示画面 操作スイッチで切り替えができます。



操作スイッチ



▲ (戻し) スイッチ/▼ (送り) スイッチ

- ・画面表示の切り替え
- ・日時の登録や画質など各種項目の設定変更

(インフォメーション) /SETスイッチ

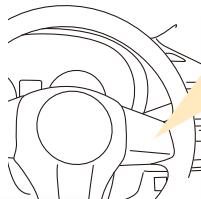
- ・割り込み画面の再表示
- ・日時や画面の明るさなど各種項目の設定変更

詳細は、取扱説明書
「第4章 室内装備品の使いかた
- マルチファンク
ションディスプレイ -」
をご覧ください。



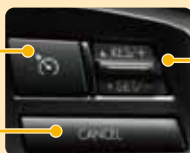
クルーズコントロール (EyeSight装備車以外)

アクセルペダルを踏まなくても約 40~100km/h の任意の速度で車速を一定に保つことができる機能です。



クルーズスイッチ
クルーズコントロール
をON/OFFする

キャンセルスイッチ
クルーズコントロール
を一時解除する




▲RES/+スイッチ
セット車速を上げる/
一時解除から復帰する

▼SET/-スイッチ
セット車速を下げる/
クルーズコントロールを
セットする

詳細は、取扱説明書「第3章 運転するとき - クルーズコントロール -」をご覧ください。



一部グレードのみに装着されている機能・装備には  マークがついています。

アイドリングストップ

アイドリングストップとは、信号待ちや渋滞などで停車すると、燃費向上やアイドリング騒音低下のため自動でエンジンを停止・再始動させるシステムです。

アイドリングストップ、エンジンの再始動

走行中


走行中にアイドリングストップが作動可能な条件を満たすと、アイドリングストップ表示灯が点灯。

アイドリングストップ表示灯



点灯


アイドリングストップ作動

 のままブレーキペダルを踏んで停車すると、エンジンが自動的に停止。



点灯

エンジン再始動

 のままブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動。

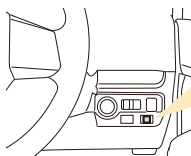


消灯



アイドリングストップの作動を OFF にする

アイドリングストップ OFF スイッチを押します。アイドリングストップが作動停止状態になります。



押す



アイドリングストップ OFF 表示灯

点灯：アイドリングストップシステム作動停止状態



アイドリングストップ中の操作、アイドリングストップが作動可能な条件、エンジン再始動条件等の詳細は、取扱説明書「第3章 運転するとき - アイドリングストップ -」をご覧ください。





詳細は、取扱説明書「第3章 運転するとき - コンビネーションメーター -」をご覧ください。



異常時に点灯 / 点滅。安全な場所に停車し、お近くのスバル販売店へご連絡ください。



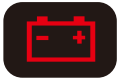
ブレーキ警告灯

駐車ブレーキがかかっているとき、ブレーキ液が著しく不足しているとき、EBD の電子制御システムに異常があると点灯 (ABS 警告灯も同時に点灯)。



AT油温警告灯

CVT のトランスミッションフルードの温度が高くなると点灯。
CVT 異常時に点滅。



チャージ警告灯

充電システムに異常があると点灯。



オイルプレッシャー警告灯

エンジンオイルの圧力に異常があると点灯。

異常時に点灯 / 点滅。取扱説明書を確認の上、スバル販売店へご連絡ください。



エンジン警告灯

エンジン電子制御システム異常時点灯。触媒を損傷する可能性があるると点滅。



ABS警告灯

アンチロックブレーキシステム (ABS) の電子制御システムに異常があると点灯。



ステアリング制御警告灯

パワーステアリングの電子制御システムに異常があると点灯。



AWD警告灯

異なる径や空気圧の著しく低下したタイヤで走行すると点滅。



SRSエアバッグ警告灯

エアバッグシステム、シートベルトプリテンショナーに異常があると点灯。



Eyesight警告灯

Eyesight が故障したとき点灯または点滅。



オートヘッドランプレベラー警告灯

オートヘッドランプレベラー (自動光軸調整機構) の電子制御システムに異常があると点灯。



ヒルスタートアシスト警告灯/ヒルスタートOFF表示灯

警告灯：ヒルスタートアシストの制御システムに異常があると点灯。
表示灯：ヒルスタートアシストの機能を解除すると点灯。



アイドリングストップ警告灯/アイドリングストップOFF表示灯

警告灯 (点滅)：アイドリングストップシステムに異常があると点滅。
表示灯 (点灯)：アイドリングストップ OFF スイッチを押してシステムを解除したとき点灯。

グレードにより装備されていない機能もあります。エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。



水温警告灯／水温表示灯

警告灯(赤色)：オーバーヒート手前で点滅、オーバーヒートで点灯。
電気系統の異常時は赤／青交互に点灯。

表示灯(青色)：水温が低いとき点灯。適温時消灯。



VDC警告灯/VDC作動表示灯

警告灯(点灯)：VDCの電子制御システムに異常があると点灯。

表示灯(点滅)：TCS 機能作動時、または VDC 作動時に点滅。

取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。



シートベルト警告灯

運転席シートベルト未着用時、警告灯が点灯。シートベルトを着用すると消灯します。



燃料残量警告灯

燃料残量が約 9L 以下になると点灯。点灯したときは、すみやかに給油してください。



半ドア警告灯

ドアまたはリヤゲートが完全に閉じていないとき点灯。



キー無し警告灯

車内にアクセスキーがない場合に点滅。

各装置の状態を示しています。



ライティング
スイッチ表示灯



フロントフォグ
ランプ表示灯



リヤフォグランプ
表示灯



ハイビーム/
バッシング
表示灯



アイドリングスト
ップ表示灯



方向指示器
表示灯



VDC OFF
表示灯



セキュリティ
表示灯



Info-ECO
(インフォ・エコ)
表示灯



クルーズコント
ロール表示



クルーズコント
ロール車速セッ
ト表示



車線逸脱警報
OFF表示灯



プリクラッシュ
ブレーキOFF
表示灯



[S]モード表示灯
(CVT車)



シフトアップ
表示(MT車)



セレクトインジケター/シフトポジション表示(CVT車)

車の警報が鳴ってしまった!

下記いずれかの操作で、警報は止まります。

- ・キーのいずれかのボタンを押す。
- ・アクセスキーを携帯し、プッシュエンジンスイッチを押して、ACC にする。
- ・エンジンスイッチにキーを差し込み、ON まで回す。

盗難警報装置について

キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）以外でドア（リヤゲート含む）またはトランクが開けられたとき、車両ホーンが鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が点滅します。

初期設定では「作動なし」になっています。使用する場合は、警報を「作動あり」に設定してください。

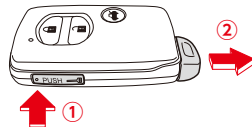


取扱説明書「第2章 運転する前に -セキュリティシステム-」

アクセスキーが作動しない!

■メカニカルキーを使用する

- ①キーのボタンを押します。
- ②メカニカルキーを取り出します。
メカニカルキーで運転席ドアを施錠・解錠します。

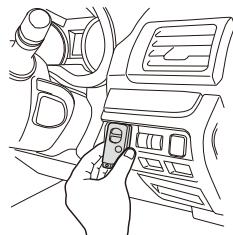


メカニカルキーで施錠・解錠すると、警報が鳴る場合があります!

アクセスキーの電池が少ない状態で警報が作動した場合は、下記の「アクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動」の手順で ACC にすれば、警報は止まります。

■アクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動

- ①セレクトレバーが **P** (CVT 車) またはチェンジレバーがニュートラル (MT 車) であることを確認します。
- ②ブレーキペダル (CVT車) またはブレーキペダルとクラッチペダル (MT 車) を踏みます。
- ③アクセスキーのボタン側を手前に向けて、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに触れるまで近づけます。
(ブザー (ピッ) が鳴り、電源が入ります。)
- ④ブレーキペダル (CVT車) またはブレーキペダルとクラッチペダル (MT 車) を踏んだままプッシュエンジンスイッチを押してください。



取扱説明書「第8章 万一のとき -アクセスキーが正常に作動しないとき-」

■ キーについているプレートは？

キーナンバープレートです。

キーナンバープレートは、車両修理や合い鍵を作るときに必要なになりますので、車内以外の場所に大切に保管してください。

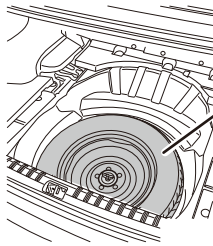
キーを作るときは、スバル販売店にご相談ください。



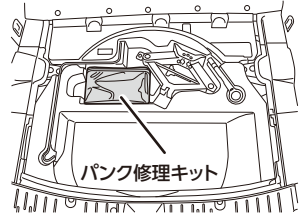
キーナンバー
プレート

■ タイヤがパンクしてしまった！

応急用スペアタイヤか、応急用スペアタイヤが装備されていない車両は、車載のパンク修理キットで応急修理をしてください。パンク修理キットでは、軽度のパンクを一時的に補修できます。応急用スペアタイヤはトランクルーム床下、パンク修理キットはカーゴルーム床下に格納されています。



応急用スペアタイヤ



パンク修理キット

※タイヤを交換する場合は、4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄、同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。4輪とも同じタイヤを使用しないと、駆動システムを損傷したり、最悪の場合火災に至る可能性があります。



取扱説明書「第8章 万一のとき -パンクしたとき-」

そのほか困ったときは・・・

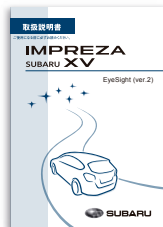
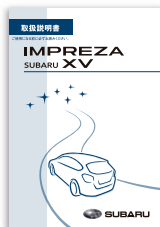
取扱説明書の巻末「困ったときの Q&A」を参照してください。

取扱説明書に記載がある方法で対処しても作動しない、改善しないときは、スバル販売店にご連絡ください。



車のご使用前に必ずお読みください

取扱説明書



EyeSight(ver.2)
装備車のみ

車両の取り扱いかたについて必要事項、
重要事項を説明しています。

メンテナンスノート



保証の内容および点検・整備に
ついて記載しています。

MEMO

お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUコール  **0120-052215**

受付時間【平日】 9:00~17:00
【土日祝】 9:00~12:00、13:00~17:00

※平日の12:00~13:00および土日祝は
(1)のインフォメーションサービスのみとなります。

SUBARUお客様センター

富士重工業株式会社

〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2 (スバルビル)

2014年8月17日(予定)より下記所在地に変更

〒150-8554 渋谷区恵比寿1-20-8 (エビススバルビル)

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。

- (1) ご意見/ご感想/ご案内 (カタログ、販売店、転居お手続 他)
- (2) お問い合わせ/ご相談

お問い合わせ先スバル販売店

Publication No. F1170JJ-B

発行 2014年5月 Printed in Japan

富士重工業株式会社 スバルカスタマーセンター

●スバル最新情報をインターネットで。 www.subaru.jp